



# 臨床腫瘍セミナー

“日本の放射線治療の将来への提言”  
—死生観にもふみこんで—

日時：平成23年1月18日(火)18時～19時30分

場所：福島県立医科大学 第二臨床講義室

演題：「緩和医療と放射線治療」

講師：独立行政法人国立病院機構

北海道がんセンター院長 西尾 正道先生



## <講師紹介>

1974年3月札幌医科大学卒業後、国立札幌病院・北海道地方がんセンター（現・独立行政法人国立病院機構・北海道がんセンター）放射線科に勤務。放射線診療部長、統括診療部長、副院長を経て2008年より同センター院長に就任。1992年に日本医学放射線学会優秀論文賞、2006年に札幌市医師会賞、2007年に北海道医師会賞・北海道知事賞を受賞。

## <講演内容>

がん診療の充実と均てん化が大きな課題となっているが、先進国で最も有効利用されていない放射線治療の課題は多い。放射線治療は物理工学とIT技術の進歩により画期的に進歩しており、根治治療から緩和治療まで幅広くがん診療で有用性を発揮できる時代となった。SRT・IMRT・IGRT・小線源治療といった照射技術により、放射線治療による根治性は向上している。また化学療法が進歩により、担がん状態でも延命期間が延長している再発・転移例の緩和的治療でも放射線治療は最も有用な治療法の一つである。緩和医療を中心に本邦の放射線治療の現状を報告し、今後のがん診療における放射線治療の在り方について私見を述べる。また、がん医療費の高騰に対しては、効果費用分析や費用有用性分析の視点も導入し、死生観についての国民的コンセンサスの共有の必要性について共に考えたい。

- ◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。



## <問い合わせ先>

福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター  
がんプロフェッショナル養成支援室  
TEL：547-1410（内2661）  
mail：mk3765@fmu.ac.jp



## <次回のお知らせ>

日時：平成23年2月15日(火)18時～19時  
講師：福島県緩和ケア支援ネットワーク  
理事長 海野 志ん子先生  
内容：「在宅緩和ケア」